

令和3年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

		作成日	令和4年3月31日
法人名		園名	
学校法人みやまの森学園		みやまの森こども園	

まとめ	全体平均	4.23
-----	------	------

第2章第2節 乳児期の園児の保育	入園を希望される保護者のご理解・ご協力により、入園児が保育者との信頼関係を構築し、園を居場所と感じられるよう、じっくりかかわってから次の受け入れを行っていること、乳幼児期のこどもの発達における愛着形成の重要性を全職員、保護者が共有できていることから、基本的にこども達の精神状態が安定しており、安定的にねらいを実現するための保育者の関わりが出来ている。現在の人的・物的環境を維持し、更なる保育力の向上に努めたい。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	こども達が、安定的に安心感、自己肯定感を感じられるよう、保育者がこどもひとりひとりの想いを汲み取り、落ち着いて暖かい雰囲気の中で生活できるよう心がけている。また、家庭での保護者とのかかわりや生活リズムによって、こどもの体調や精神状態が大きく左右されることから、家庭との情報共有を密にしている。これらの対応で、ほとんどのこども達が落ち着いて園生活をおくることが出来ている。言葉や感性を養うと同時に、保育者や友人といった他者との適切な関わりを習得できるよう、今後は、本園が有する豊富な自然環境下での、個々の活動や友人との活動の機会を増やしていきたい。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	年齢や個々の発達状況に応じて、一人一人に丁寧に寄り添い、適切な言葉かけをすることを意識したことで、ほとんどの園児が、落ち着いて様々な活動を楽しみ、友人や保育者とのかかわりを深めている。体調不良はもとより、精神面、行動面で気になる場合には、担任以外の保育者も含めた全員で共有し、注意深く見守っている。そのため、多くの活動で、基本的に園児自身が主体的に取り組むことが出来ている。更に内容が含まったり、新たな活動へと広がっていくよう、保護者との連携や更なる環境の充実を図っていききたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	各クラスで、年齢に応じた発達に留意し、こどもたち一人一人に丁寧に向き合うことを基本とし、安全にこども自身の興味関心に没頭できるよう環境整備や活動計画をたてている。また、保護者との対話を大切に、園や家庭での様子や気になる点を共有することに努めている。今後、遊びの固定化を防ぎ、更に、こどもが主体的に活動を継続し、深めていくことができるよう日々の教育・保育についてのPDCAサイクルを進めていきたい。
第3章 健康及び安全	健康および安全については、担当者だけでなく組織として日頃から意識的に取り組んでいるが、予測のつかない種々のリスクがあり、現状で備えが十分ということはない。今後も情報収集に努めると同時に、内部だけでなく、専門機関などとも連携をとって、更なる充実をはかりたい。
第4章 子育ての支援	日頃から、保護者と園・保育者との信頼関係の構築が、こどもの健全な発達に最も重要なことの一つであるとの思いを持ち、全職員が細やかな保護者対応を心掛けている。コロナ禍により、保護者を含めた職員以外の園舎内立ち入りを制限したり、保護者参加行事が変更や中止となったことから、例年通りの保護者との連携が難しかったため、サイネージを使用して活動の様子を画像や動画でお伝えしている本園の独自の取り組みをより工夫したり、密を避けるなどの感染対策を施した茶話会などを実施した。
第5章 職員の資質向上	教育・保育の質の向上において、国内外での研修の重要性を理解し、園として積極的に参加を呼び掛けており、経験年数の長さや職位によって偏りが無い様、多くの職員が研修に参加している。日本赤ちゃん学会など、最新かつ学際的な知見を得られる研修参加により、園全体の保育力が着実に向上していることを感じている。
総合	こどもの最善の利益を常に最優先にし、専門職として年齢ごとの発達過程を踏まえ、一人一人のこどもに丁寧に寄り添う意識を全職員が共有することでほとんどのこども達が本園を自分の居場所と感じ、集団でも落ち着いた生活をおくることが出来ている。コロナ禍ではあったが、森や畑、広場など、園内の豊富な自然環境を活かして、以上児については、例年以上に戸外活動を増やすことで、感染対策による体験の不足を補うことができた。自己評価をとおして、現在の取り組みの改善点を把握すると同時に、全ての項目で、専門職として保育力向上のための継続した取り組みが必要であること、保育者間、園・保育者と保護者、園と地域や専門機関との連携が、質の高い教育・保育につながることを、全職員が実感することができた。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	5.00
「3歳未満児保育」	30	4.33
「3歳以上児保育」	53	3.92
「教育保育の配慮事項」	16	4.31
「健康・安全」	27	4.25
「子育ての支援」	15	4.40
「職員の資質向上」	9	4.00
計	165	4.23

データグラフ

